

平成30年度第4回東京都消費生活調査員による「干し芋・干し柿の原料原産地等の表示」
に関する調査結果概要

1 調査目的

食品表示法に基づく食品表示について、都内の店舗において適正に行われているかの実態を調査することにより、事業者の指導等に活用し、食品表示の適正化を図る。

2 調査内容

(1) 調査品目

食品表示法に定める、食品表示基準第3条第2項による同基準別表第15第1項(1)に規定する乾燥野菜及び乾燥果実のうち、干し芋及び干し柿の計2品目

(2) 調査項目

ア 取扱商品の有無

イ 表示の有無及び表示の内容

特に、原料原産地名表示について重点的に調査を依頼し、次の一括表示全般を調査対象とした。

名称、原材料名、原料原産地名、内容量、賞味期限又は消費期限、保存方法、表示責任者(製造者等)の氏名又は名称及び住所

(3) 調査期間

平成30年10月12日(金曜日)から平成30年10月26日(金曜日)まで

(4) 調査の規模

ア 調査開始時の調査員数 : 190名

イ 調査実施人数 : 182名

ウ 調査実施店舗数 : 362店舗

エ 調査対象品目数 : 724品目

3 調査結果

(1) 干し芋

取扱店舗数 343店舗 (取扱率94.75%)

取扱数 798

表示項目		表示適正数 (表示適正率)	不適正項目数
名称		798 (100%)	
原材料名		798 (100%)	
原料原産地名		786 (98.50%)	12
内容量		795 (99.62%)	3
賞味期限 (又は消費期限)		796 (99.75%)	2
保存方法		792 (99.25%)	6
表示責任者 (製造者等)	氏名又は名称	798 (100%)	
	住所	798 (100%)	
不適正項目数 計			23

不適正商品数 計	21
-----------------	-----------

(2) 干し柿

取扱店舗数 151店舗 (取扱率41.71%)

取扱数 169

表示項目		表示適正数 (表示適正率)	不適正項目数
名称		169 (100%)	
原材料名		169 (100%)	
原料原産地名		168 (99.41%)	1
内容量		165 (97.63%)	4
賞味期限 (又は消費期限)		168 (99.41%)	1
保存方法		169 (100%)	
表示責任者 (製造者等)	氏名又は名称	169 (100%)	
	住所	169 (100%)	
不適正項目数 計			6

不適正商品数 計	5
-----------------	----------

(3) 調査結果に基づく対応について

調査員から不適正表示の報告があった26商品については、現地確認調査等を実施した。その結果、不適正表示が確認された3商品については、所管の行政機関に情報回付を行った。